

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	地域内循環支援事業	担当者	地域経営課商工観光政策係
-------	-----------	-----	--------------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	3. 地域を支える力強い産業の村／産業の振興／商工業の振興		
関連する主な計画等			
根拠法	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地域消費喚起・生活支援型)制度要綱		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者	村内商工業者		
事業開始年	H27 <input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	H27 <input type="checkbox"/> 終期未定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	村内の商工会員事業所や、店舗で使用できるプレミアム付き商品券を販売することにより、消費者の消費意欲の喚起と、村内商工業者の振興を図ると共に、村の活性化に寄与する。					
具体的取組	村内の店舗等で使用できる商品券の発行 1冊12,000円分を10,000円で3,000冊販売					
実績・効果	先行販売、当日販売とも、1日で完売した。 アンケートをとるなかで、おおよそ24,991千円の消費喚起額があった。商品券の支払に併せて、4,450千円の現金支出があった。					
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	地域内循環支援事業補助金	6,500				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)			6,500		
	うち一般財源					
	うち補助金			6,500		
	うち個人負担					
従事職員	正規職員					
(人)	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	ニーズは非常に高い	B
	手段、成果は妥当か	a	実績があり、妥当	
	対象者の設定は妥当か	b	福祉的配慮を望む声があった	
	村の関与は妥当か	a	妥当である	
有効性	期待された効果が得られたか	効果は十分にあった		A
効率性	コストの削減に努めたか	a	デザインを自前でやるなどコスト削減に努めた	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	今までの経過を活かし効率的に行われた	
公平性	受益者負担は適切か	一定の負担はある		A
総合評価	A			

④改善(ACTION)

事業の方向性	終了
課題	希望する村内全ての店舗で使用できなかった。 販売限度額、販売方法、福祉的配慮等について検討が必要。
今後の取り組み	商工会と連携し、使いやすい商品券の発行を検討。